道の駅かつら移転基本計画（概要版）

1. はじめに

「道の駅かつら」は、平成４年４月に特産品直売センターとして開設し、平成５年４月22日、茨城県内で第１号の道の駅として「道の駅かつら」が誕生しました。

開設から29年以上が経過していることから、施設の老朽化は顕著であること、また、本来の休憩施設としての機能においても不十分であることから、「道の駅かつら」のリニューアルは城里町の観光施策の上でも重要課題でありました。

このようななか、那珂川にかかる那珂川大橋の架替事業が動きはじめ、その新ルートに「道の駅かつら」がかかることから移転が必要となりました。「道の駅かつら」の移転を新しく魅力的に生まれ変われる好機と捉え、令和２年10月に「城里町特産品直売センターかつら（道の駅）移転整備検討委員会」を組織し、道の駅かつら移転基本構想（令和３年６月）を策定しました。

道の駅かつら移転基本計画では、移転基本構想において掲げられた整備コンセプトを踏襲し、新たな魅力づくり等が期待できる「道の駅かつら」を整備するため、道の駅移転整備検討委員会において協議を重ね、**移転候補地を既存道の駅の隣接地と決定**し、基本計画を策定いたしました。

2. 導入施設の整備方針

【整備目的】
●城里町をＰＲする拠点
●地域と観光の賑わいの場となる拠点

【整備コンセプト】
山河の魅力を「味わう」ことができる拠点づくり

【道の駅整備のための基本方針】
●豊かな自然や景色を味わうことができる拠点づくり
●特産品の良さを味わうことができる拠点づくり
●人とつながる喜びを味わうことができる拠点づくり
●既存施設の雰囲気を踏襲した拠点づくり

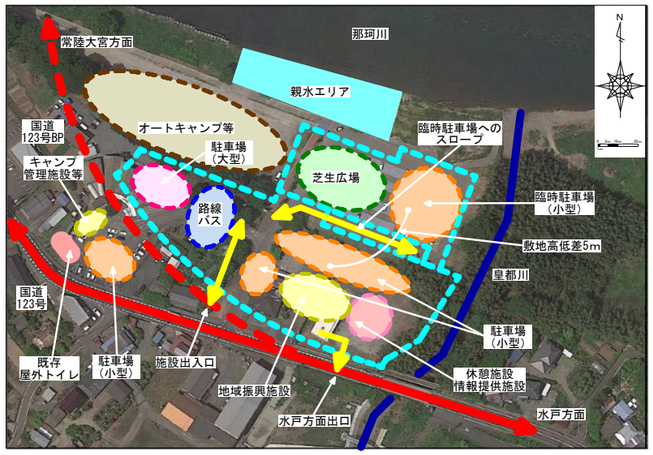
●豊かな自然や景色を味わうことができる拠点づくり
関東の嵐山と謳われる那珂川、御前山の風景やそこに広がる自然を活かし、四季を通じて城里町の魅力を体感することができる拠点づくりを目指します。
●特産品の良さを味わうことができる拠点づくり
城里町の特産品販売や飲食等を通じて、町の魅力の発信と地域の活性化の促進に貢献する拠点づくりを指します。
●人とつながる喜びを味わうことができる拠点づくり
道路通行途中の休憩や、観光、レジャー利用の方々の他、地域の施設としての道の駅づくりで、安心安全で安らぎや癒しの魅力を伝え、人々の交流を促進できる拠点づくりを目指します。
●既存施設の雰囲気を踏襲した拠点づくり
昨今の道の駅として必要な機能の整備を検討する一方で、地域に合った施設規模を検討して、建設・維持管理のコストを抑えられるよう十分に配慮し、現存する道の駅かつらの温かい雰囲気を踏襲した魅力ある拠点づくりを目指します。

3. 導入施設内容

施設関連イメージ図

基本構想の施設関連イメージ図をもとに候補地での配置計画を行い、「道の駅導入機能・施設の検討」で設定しました導入施設について整理します。

※今後、事業を進めるにあたり、配置、導入施設、規模等は変更になる可能性があります。



休憩施設

①駐車場
- 国道　123号の交通量や施設利用に応じた十分な駐車台数を確保した駐車場を整備します。
- 駐車しやすいゆとりをもった駐車スペースを整備します。
- 駐車スペースには極力段差をなくし、人が歩きやすく、運転しやすい駐車場を整備します。
- バリアフリー法に基づいた優先マークを表示し、身障者、妊産婦、介護が必要な高齢者、けが人が利用できる身障者用の駐車スペースを整備します。

②休憩スペース
- ベンチやテーブルを設置して、道の駅に訪れた方が気軽に利用し、休憩できるスペースを整備します。
- 気軽に休憩できる、２階のベランダ休憩スペースを整備します。

③トイレ
- 24時間利用できて、清潔で明るく使いやすい、誰もが安心して利用できるトイレを整備します。
- 車いす使用者、高齢者、妊婦、乳幼児を連れた方等、24時間誰もが安心して利用できる多目的トイレを整備します。

④サイクルステーション
- サイクリストが気軽に立ち寄って休憩できる駐輪スペース、スポーツサイクル対応空気入れの貸し出し等を行うサイクルステーションを整備します。

情報発信機能

①観光情報等、地域の情報
- 道の駅に訪れた人々に道路情報や周辺の観光・イベント情報を提供するための施設を整備します。
- 地域の情報を積極的に発信する総合観光案内所を整備します。

②災害時の情報
- 道の駅SPOTを利用する等、災害発生時、災害発生状況等の情報を提供するための方法について検討します。

子育て応援施設

- 乳幼児をもつ子育て家族が安心して道の駅を利用できる、授乳スペースやおむつ交換スペースを整備します。

地域連携機能

①農林水産物販売施設（直売所）
- 引き続き、町や近隣地域で生産される農産物や加工される物産品等を販売し、町の魅力を発信できる場を整備します。

②飲食施設
- 町や近隣地域で生産される新鮮な農産物や那珂川でとれる水産物を提供する飲食の場を整備します。
- 多様な食のニーズに対応するために蕎麦・うどん以外の料理を提供する場を整備します。

③多目的広場
- 景観を眺め、利用者が心安らげ、又、イベントが出来る広場など賑わいのある多目的広場の整備を検討します。

防災機能

①防災施設
- 地震等の災害において、地域住民の一時避難場所・被災時の地域住民や帰宅困難者の支援が出来る防災備蓄倉庫の設置・災害時に受水槽内の水道水を有効活用できる非常用給水栓受水槽の設置を検討します。
- 災害時に停電が起きた場合に、電気等を使用できるようにするため、非常用自家発電機や移動可能な発電機の設置を検討します。

その他

①キャンプなどのレジャー拠点
- ふれあい広場やその周辺について、オートキャンプ場として再整備します。
- オートキャンプ場の有料化を視野に入れ、管理棟等の施設を整備します。

道の駅かつら移転基本計画（概要版）

4. 施設規模

道路交通量・類似事例等を基礎として算定しました。

【道の駅】

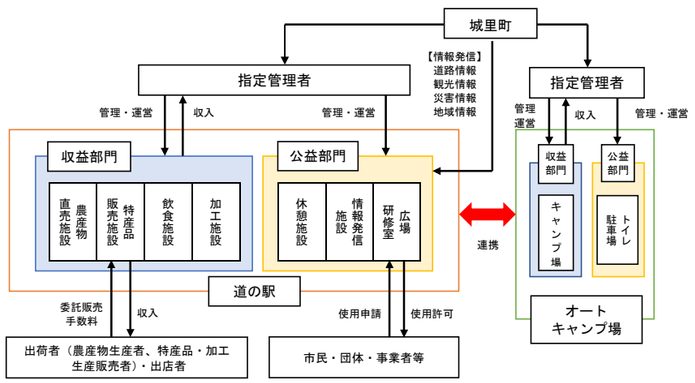
種別			現在面積（㎡）	計画面積（㎡）	備考
休憩施設	トイレ	女性用	27	46	便器数7器
		男性用	25	60	便器数大5器 小8器
		多目的	8	8	便器数1器
	情報発信スペース		6	49	
	駐車場	小型車用	(108台)	(122台)	
		中型・大型車用	(6台)	(6台)	
		身障者用	(2台)	(3台)	
		計	(116台)	(131台)	
	小計		66	163	
地域振興施設	物販施設	直売所	255	343	
		屋外売場	12	30	
		ﾊﾞｯｸﾔｰﾄﾞ	－	13	
	飲食施設	食堂	83	285	
		テラス	－	80	
		厨房	35	80	
	加工施設	加工室	－	60	惣菜、和菓子
	テナント	売場	17	25	3区画
	付帯施設	事務所	63	149	事務室、研修室
		更衣室	－	26	更衣室、休憩室
		通路等	142	458	授乳室、倉庫 飲食施設トイレ等
	小計		607	1,549	
建物面積合計			673	1,712	
敷地面積合計			10,628	約13,000	河川区域駐車場含む

【オートキャンプ場】

種別	現在面積（㎡）	計画面積（㎡）	備考
管理棟	－	60	
屋外トイレ	60	60	既存再利用
炊事棟	－	20	
建物面積合計	60	140	
敷地面積合計	4,800	約6,000	

5. 管理運営方式

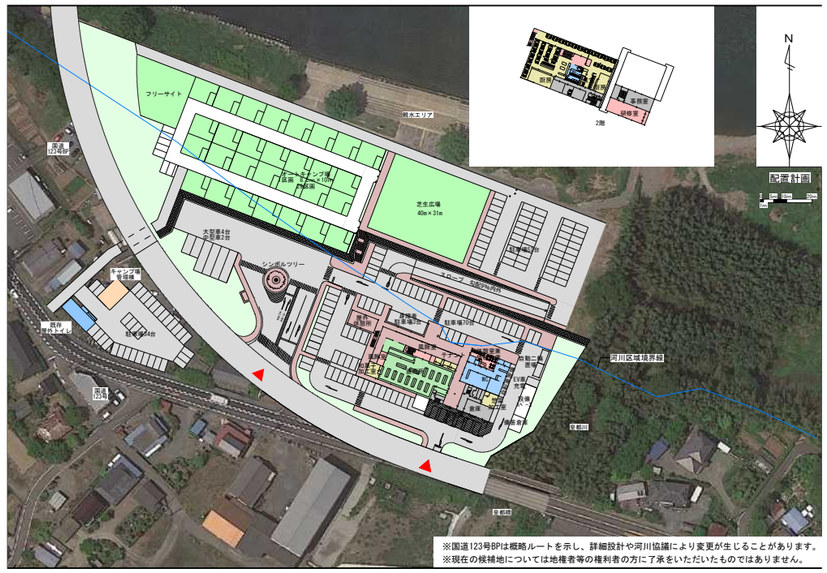
管理運営は、指定管理者による管理運営体制となります。



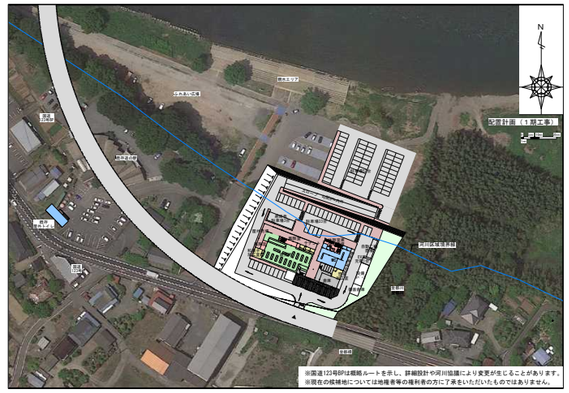
6. 配置計画案

配置計画案及び施設計画図案は、当基本計画策定にあたって作成したイメージであります。

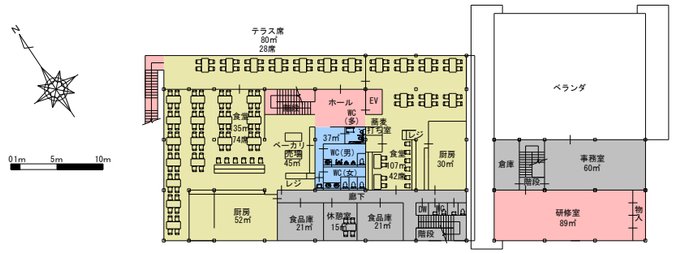
配置計画案



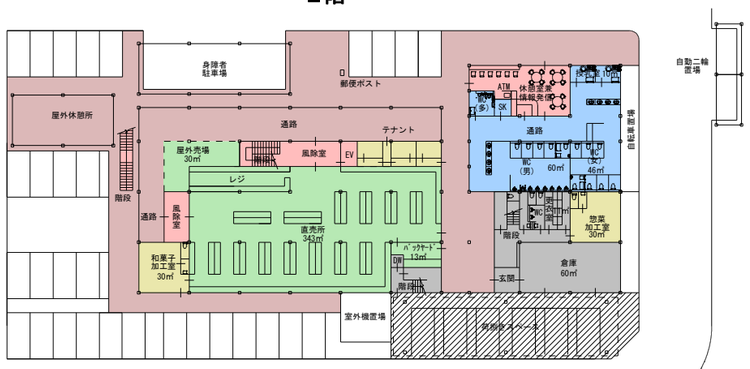
初期整備（第１期工事）配置計画案



施設計画図案



２階



１階

7. 事業スケジュール

道の駅移転整備（第１期工事）

令和７年度の開業を目指し、関係機関等との調整や設計・工事等を進めます。

【事業スケジュール（予定）】※各業務内容等の期間には、準備や調整の期間も含みます。

業務内容等	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度以降	備考
計画の策定 ・基本構想の策定※ ・基本計画の策定		→						※令和３年６月策定
関係者協議 ・道路管理者 ・関係各機関		→	→	→	→	→		
測量・設計 ・用地測量調査 ・地質調査 ・基本設計 ・実施設計等			→	→	→			
用地交渉・法的手続き ・開発許可、建築関連申請 ・事業認定申請 ・河川協議 ・用地取得等			→	→	→			
建設・施工 ・造成工事 ・外構工事 ・建築工事等				→	→			
開業準備 ・各種準備 ・引越等				→	→			
道の駅開業						開業		
現道の駅解体						→		

ふれあい広場オートキャンプ場・駐車場整備（第２期工事）

道の駅開業後、関係機関等との調整や取付道路等の進捗に合わせて工事等を進めます。

【事業スケジュール（予定）】※各業務内容等の期間には、準備や調整の期間も含みます。

業務内容等	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度以降	備考
関係者協議 ・道路管理者 ・関係各機関								
測量・設計 ・実施設計等								
各種手続き ・河川協議等					⇢	→		
建設・施工 ・造成工事 ・外構工事 ・建築工事等								